

数は力! あなたのまわりの業者の方を民商にご紹介ください!

名古屋北部民商ニュース

2015年6月8日(月)発行

No.140

名古屋北部民主商工会

名古屋市北区大野町三丁目19番地

TEL (052) 915-8111 FAX (052) 915-8114

E-MAIL jimukyoku@hokubuminsho.st1.jp

今週のニュースは特大号! 裏面もあります!

名古屋北部民商第4回定期総会を開催

5月30日(土) 鳩岡ホールにて名古屋北部民商第4回定期総会を開催しました。役員、代議員、評議員を含めた55名と、来賓4名の計59名が参加。西部民商の会員である丸八給食さんにお弁当を用意していただいた後、和賀非常任理事のあいさつによって開会。議長には、平安支部の石川さんと山田支部の林さんが選出されました。



会長あいさつでは、安藤会長から昨年一年民商運動に協力くださった会員の方々へのねぎらいと、今年も組織強化に向けて頑張りましょうと呼びかけられました。来賓として、春のいつせい地方選で当選されたわしの恵子県議、岡田ゆき子市議、青木ともこ市議、くれまつ順子市議にご参加いただき、順にご挨拶賜りました。県と市と臨時議会が開催され、それぞれ所属の委員会が決定。中小業者のみなさんがよりよく暮らせるような県政・市政を目指しますと熱い意が語られました。



活動報告と方針(案)の提案では、松原事務局長より中小業者と民商を取り巻く問題として、倉敷民商事件の例などが挙げられました。また、民商を強く大きくするために組織作りに取り組むことが語られました。収支報告と予算(案)の提案では、井浪副会長から、第4期は事務局員の補充をして臨むことなどが報告されました。また、黒川支部の森さんに会計監査の報告をしていただきました。

今回の総会では、代表発言として婦人部の加納さん、楠支部の朝倉さん、新会員の高橋さん、竹田事務局員からそれぞれ民商活動への思いなどを語っていただきました。詳細はニュース裏面をご覧ください!



代表発言の後、活動報告と方針(案)、決算報告と予算(案)が全会一致で採択されました。また、婦人部の三浦さんより、<「戦争法案」に反対し、憲法9条を守り生かすことを求める特別決議>を読み上げていただき、全会一致で承認されました。最後は、井浪副会長より役員(案)の提案があり拍手で承認され、新役員のあいさつを安藤会長よりして頂きました。統合時から会長を務めてくださっている安藤会長。来年は、名古屋北部民商結成から5年を迎えることもあり、節目の年に向けてこの一年、この体制でこれからも頑張りましょうと語られました。



閉会あいさつでは、前田副会長より民商の拡大への協力が呼びかけられるとともに、春の運動で新たに民商の仲間となった人達とともに、中小業者の要求実現に向けて、今後もより一層運動に取り組みましょうと語られました。



特集: 憲法から求められる税金のあり方 ② 憲法で定められている税の使い方

憲法では、国民が納税の義務を負うのは払った税金が平和に生存するために使われていることを前提としています。つまり、憲法上はすべての税は福祉目的であるとされているのです。しかし、実際の税の使い道は福祉目的ではないばかりか、消費税増税そのものは国民生活に打撃を与えるという本末転倒なものとなっています。税の使い道を正し増税を阻止するためには、まず憲法に立ち返り、権利のあり方を認識することが今後大切なのです。(おわり)

原水禁キャンペーンに協力ください!

8月に長崎で行われる原水禁世界大会へ代表を派遣するためのカンパを募っています。30日の総会では、17,244円ものカンパが集まりました! ご協力ありがとうございました! カンパ箱と折り紙が民商事務所にありますので、お越しの際はぜひご協力よろしくお願いたします。



名古屋北部民商新三役の紹介

| | | |
|-------|----|-----|
| 会 長 | 安藤 | 洋一 |
| 副 会 長 | 井浪 | 俊次 |
| | 島本 | 泰定 |
| | 伊神 | 三良 |
| | 前田 | 建太 |
| | 岩田 | 勝行 |
| | 林 | 雅秀 |
| 会 計 | 加藤 | 継四郎 |
| 事務局長 | 松原 | 裕子 |

事務局員退職のお知らせ

野々垣博義事務局次長は、5月20日をもちまして病気の治療に専念するため、退職の運びとなりました。会員の皆様方には今後何かとご迷惑をおかけすると思っておりますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。なお、5月30日より事務局次長に豊田宏事務局員が就任いたしましたので、併せてお知らせいたします。

代表発言

婦人部 加納 トシエさん

婦人部の活動報告をさせていただきます。去年7月に総会を行いました。そして、婦人部のプレゼントとして去年は靴下を用意して、皆さんに贈らせていただきました。夏の恒例ですけど、そうめんの販売をしました。これの資金でもって、母親大会、原水禁の活動、婦人部の全国大会の資金などに使わせていただいております。11月に婦人部の行事として「おやき」づくり。北生涯学習センターで13人、たくさん集まって楽しくやりました。私の個人的な一年間の一番楽しい活動がこれだったということでしたけれども、井浪さんの奥さんがほとんどの準備をやってくださって、私たちは包んで、蒸す、そして食べるという、とっても楽しい講習会になったんです。そして1月には「編み物教室」を行いました。男性役員の方の協力も得て、婦人部の拡大活動も行いました。



楠支部 朝倉 宏隆さん



私は、毎週水曜日は「民商の日」にしているんですよ。商売はなんにもなし。民商のことばかりやる日を、うちの家内と相談して決めました。本当に民商が大好きだから私は会員として誇りを持っているんです。だから、やっぱり知ってる人にはまず商工新聞のことを言うんです。「これ見てみやあ」とか「あんた資金面苦しくないか？ 困ってたら民商入りゃあよ」って。今日も喫茶店で、大きな声で民商のこと喋ってきました。その人は真剣な顔をして聞いてくれた。みなさんにも、そういうことをやってほしいんです。親しくなれば、商工新聞は増えるんです。私は、この人って言ったら必ず顔を出すんです、水曜日に。そしたら、「長年つきあってるけど、お前さんほど必ず毎週会えるなんてことはないな」って。そりゃあそうですよ、私は水曜日は「民商の日」なんだから。そして、絶対に新聞を取ってくれるまで粘るんです。とうとう、その人取りましたよ。だから、民商は難しくないんです。話し合えばいいんです、みんなと。みなさん商工新聞を見ますか？ 配られたらそのままほかってあるだろう。ちゃんと見ないかんよ。その中に、黄色い紙（名古屋北部民商ニュース）が入ってるでしょ。あれ見てよ。良いことが載ってるから。その話しながらでも、会員さんと話しながら、民商のことばかり言ってればいいんです。民商のことばかり言って増やそうということです。私もこれから全体のことを考えて、商工新聞と会員を増やしていきたいと思います。皆さん、よろしくお願いします。

新会員 高橋 綾さん



私は岩手県宮古市出身です。今年23歳になり、名古屋には20歳の時に勤めていたエステ会社の転勤で参りました。民商の会員になったのは今年の1月で、岩手で林業を営む父からの紹介です。一人娘の私を愛情深く育ててくれた父を必ず楽にさせてあげたいという思いから、女性でも若くても独立できるエステ業界に就職しました。ですが、勤めているだけではやっぱりいけないという思いから、自営業の方々と接点を持つ機会があり、21歳の頃から自分で商売を立ち上げたいと思い、経営の勉強などをしてきました。経営だけではなく、これから難しい時代になっていくので、勝負して勝って行く仕事・業種を考えた結果、元々得意としていた美容業界に焦点を当てて今は勉強しています。美容とともに、健康にも注目しています。私の周りにも病気で亡くなった方、現在闘病中の方がいます。「いつまでも若々しく健康でいたい」という思いは皆さま同じだと思います。私は生涯現役で仕事をしたいと小さい頃から思っていました。ですので、健康・美容・自分が関心あることを皆さまに発信していきたいと思っています。この2つを自分の商売の看板として活動するため、民商には確定申告からお世話になっています。私が今商売を立ち上げる点で、具体的には女性へのエステ、男性ですと、育毛・発毛、においといったものです。自分ではなかなか気づかないところや他人様から気づかれている部分などへアプローチしています。見た目が変わったり悩みが解決されると自信がついて、いきいきと仕事ができるようになったとか、表情や雰囲気が変わったという人が多く見受けられます。「世のため、人のためになるお仕事を」と言っている私も、早く多くの人のお役に立てればという気持ちでいっぱいです。名古屋に来て3年ですが、まだ人脈も少ない状態です。こうして多くの方々と出会って、皆さまの前で発言させていただくことに本当に感謝しております。離れて暮らす父のためにも、この美容業界で商売を立ち上げたことによって、絶対に成功したいなと思っています。民商にも入らせていただきましたので、何かお役に立てるよう私も努めてまいります。皆さまにもお力をお借りすることもあるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

竹田 真奈 事務局員



今年長崎で開催される原水禁世界大会の代表として発言させていただきます。今年は戦後70年という節目の年として、世界で唯一の被爆国である日本は戦争についてより一層考え、行動すべき年であると思います。ですが、現政権はあくまでも平和のためと言って、日本が再び戦争ができる国にしようとしています。武力で、核兵器で苦しい思いをしてきた人々がたくさんいるにも関わらず、安全のためという名目のもと、再び悲しい時代がやってくるかもしれないと思うと、非常にいたたまれない気持ちになると同時に、何としても今、この流れを変えていかなくてはならないと強く思います。過去の悲惨な歴史を二度と繰り返さないようにするために、そして平和なくらしを実現するためにどうすればいいか、今回世界大会に参加することで、この目で見て、耳で聞いて、よく勉強して参りたいと思います。特に、私は戦争をテレビや映画でしか知らない世代ですので、実際に原爆が投下された地を訪れて、その景色を目にすることで、戦争とは何か、平和な暮らしとは何かということを改めて考えるきっかけにしたいと思っています。そして、長崎で学んだことを全部名古屋に持ち帰って、それを皆さんにきちんとお伝えすることができるよう、懸命に励みたいと思います。原水禁カンパと折鶴の方も集めていますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

**民商は、会員のみなさんの会費で運営されています。毎月15日集金
月末100%集金へ、みなさんのご協力をお願いいたします。**